

ディレクターチェア DC-60

取扱説明書

このたびは、弊社の商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
当商品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をお読みください。
商品の使用期間中はいつでもお読みになれるよう、大切に保管してください。

設置方法 ⚠ 警告

- 地震や津波などの予期せぬ災害で家具の転倒や移動で怪我をすることがあります。使用しない時は建物の壁、床等に市販されている固定具でしっかりと固定してください。
- 高温多湿の部屋では、カビ、ダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。家具の裏側も風通しをよくする為、壁から少し離して設置したり、部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱、冷暖房器の風が直接当たらないようにしてください。ひすみやくるいの原因になることがあります。
- 家具は水平に保つように固い床面に置いてください。傾いたり、ガタツキのあるまま使っていると歪みが大きくなり動きがスムーズに出来なくなったり、家具の強度が落ちてしまう原因となります。

使用方法 ⚠ 危険

- 家具を本来の目的以外では使用しないでください。家具の上で立ったり、飛んだり、踏み台代わりにしたり、上に登ったり、屋外で使用するなどは絶対にしないでください。
- キャスターがついている家具は、上に乗ったり、激しく動かしたり、押して遊んだり、想定以上の重量の物を置いたりしないでください。倒れて怪我をしたり、床を傷つけたり、他の物を壊す恐れがあります。
- 他の家具の上に積み重ねてのご使用は絶対にしないでください。脱落や転倒の原因になり大変危険です。

使用方法 ⚠ 注意

- 木材の接着剤(ホルムアルデヒド)等が残っている家具で、極稀にアレルギー症状を引き起こすことがあります。換気を十分にしてお取り除いてください。乳幼児の衣類等、ベビー用品を収納される場合は特に注意してください。
- 家具を移動する時は落としたり引きずったりしないでください。破損や怪我をする恐れがあります。
- 座面の回転やキャスターでの移動の際には、手や足が触れている位置によっては指等を挟む恐れがあります。特にお子様が使用される場合には、充分にご注意ください。

お手入れ方法 ⚠ 警告

- 蝶番や脚の取付金具に使用する固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには、増し締めをしてください。また、家具の移動後も点検してください。緩んだまま使っていると、家具が壊れて怪我をする恐れがあります。
- 害虫を発見した場合は直ちに殺虫や防虫処理を行ってください。他から入った可能性もありますので、放置すると害虫が広がる恐れがあります。
- 汚れを拭き取る時は固く絞った雑巾を使用して、シンナー、ベンジン等は使用しないでください。

お問い合わせ先

■万一部品漏れや部材の破損があったとき、組立方が分からない、その他不明な点があったときは、下記の連絡先までご連絡ください。

製造・販売

TOKIO 藤沢工業 株式会社

TEL 058-247-3311

〒500-8212 岐阜市日野南7-1-7

受付時間 月曜日～金曜日 AM9:30～PM5:00（土、日、祝日、年末年始、夏期休暇等は除く）

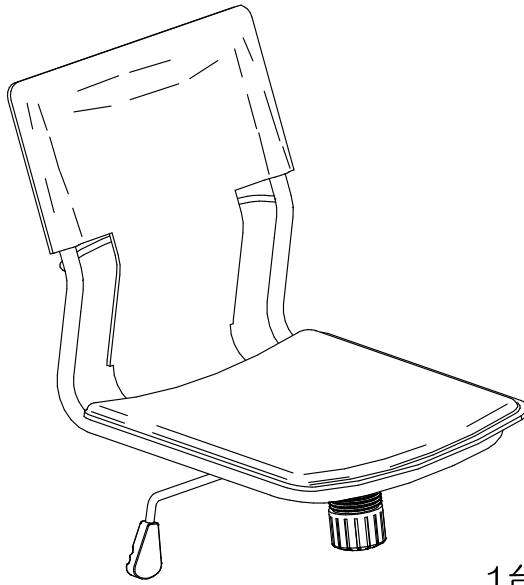
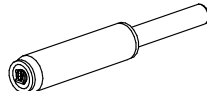
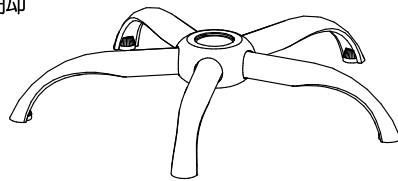
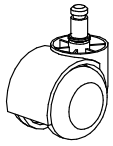
完成図・各部名称



組立前の準備

- 組立場所：なるべく広い部屋で、床や、商品を傷つけないように敷物を敷いてください。
- 部材、部品の確認：組み立てる前に、下記の「部材・部品表」を見て、すべての部材と部品を出して、破損、不足が無いのか、よく確認してください。

部材・部品表

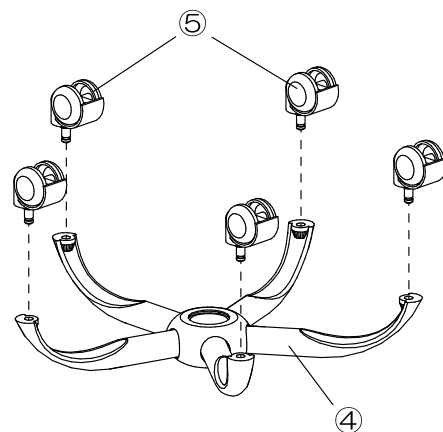
① 座・背部	③ ガスシリンダー
	 1本
	④ 脚
	 1台
	⑤ キャスター
	 5個

取り付け方法

1・部品の取り付け

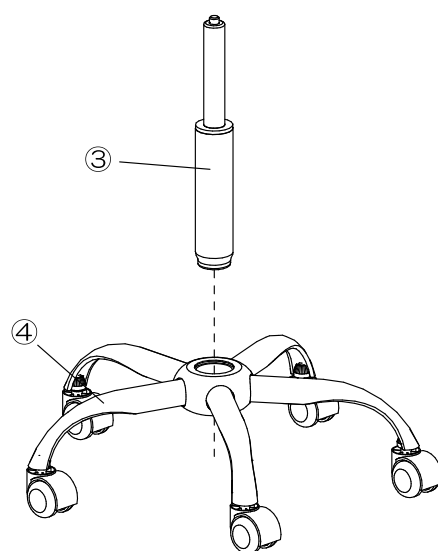
- 下図をよく見て各々の部品をとりつけます。

★⑤キャスターは④脚の下側の穴にそのピンを差し込みますが、「カチッ！」と手ごたえのあるまでしっかりと差し込んでください。



2・シリンダーの取り付け

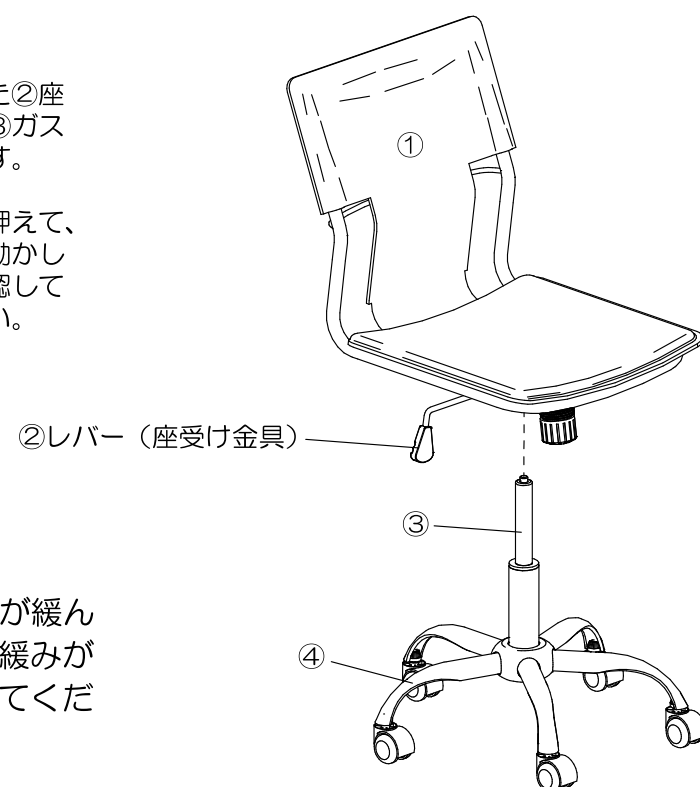
- ④脚の中央の穴に③ガスシリンダーを差し込みます。



3・座・背部の取り付け

- ①座・背部は、その裏面に取り付けた②座受けの中央の穴に④脚に取り付けた③ガスシリンダー上部を差し込んで完成です。

★完成した椅子の座面をゆっくり手で押えて、グラつきやきしみがなく、左右に動かしてキャスターがスムーズに動くか確認してから腰かけて、再度確認してください。



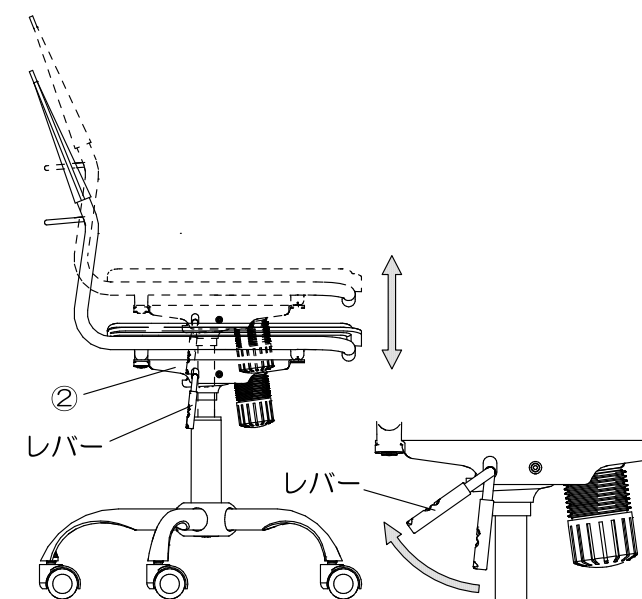
※取付に使用した固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには増し締めをしてください。

4・座・背部の昇降とリクライニング＆ロッキングの使用法

- このディレクターチェアは、①座・背部を上下に高さ調整したり、後ろに傾けてリクライニング状態やロッキング状態にすることができます。

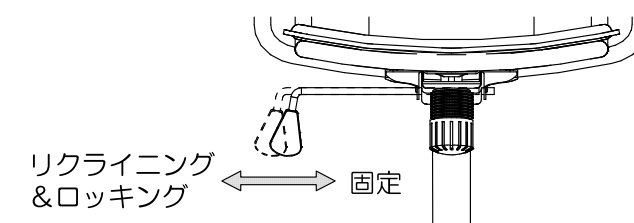
◆座・背部を上下に昇降

①座面を上にする場合は、②座受け金具に付いているレバーを後ろに傾けながら腰を浮かせます。座面を下にする場合は、レバーを後ろに傾けながら座面に体重をかけます。

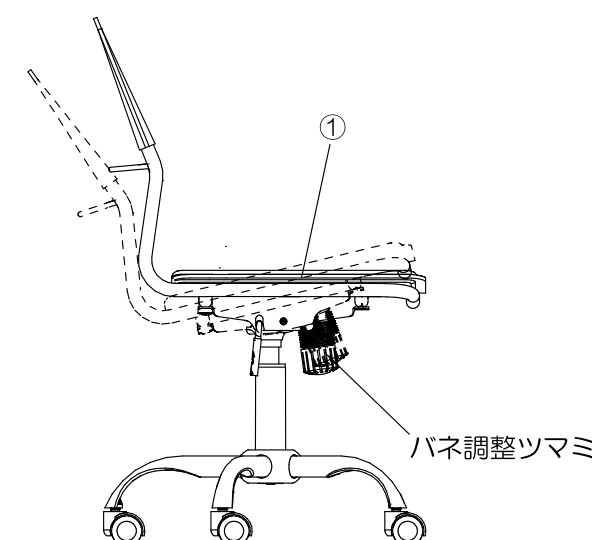


◆座・背部のリクライニング＆ロッキング

①座・背部をリクライニングやロッキング状態にするためには、下図のようにレバーを横に引いてください。固定が解除されて①座・背部が前後に傾くようになります。



①座・背部下のバネ調整ツマミを下から見て時計回りにまわすと動きは固くなり、反時計回りにまわすと動きゆるくなります。



★リクライニングやロッキングをする場合、安全のため座面は下に降ろしてご使用ください。

ディレクターチェア DC-50

取扱説明書

このたびは、弊社の商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
当商品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をお読みください。
商品の使用期間中はいつでもお読みになれるよう、大切に保管してください。

設置方法 ⚠ 警告

- 地震や津波などの予期せぬ災害で家具の転倒や移動で怪我をすることがあります。使用しない時は建物の壁、床等に市販されている固定具でしっかりと固定してください。
- 高温多湿の部屋では、カビ、ダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。家具の裏側も風通しをよくする為、壁から少し離して設置したり、部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱、冷暖房器の風が直接当たらないようにしてください。ひすみやくるいの原因になることがあります。
- 家具は水平に保つように固い床面に置いてください。傾いたり、ガタツキのあるまま使っていると歪みが大きくなり動きがスムーズに出来なくなったり、家具の強度が落ちてしまう原因となります。

使用方法 ⚠ 危険

- 家具を本来の目的以外では使用しないでください。家具の上で立ったり、飛んだり、踏み台代わりにしたり、上に登ったり、屋外で使用するなどは絶対にしないでください。
- キャスターがついている家具は、上に乗ったり、激しく動かしたり、押して遊んだり、想定以上の重量の物を置いたりしないでください。倒れて怪我をしたり、床を傷つけたり、他の物を壊す恐れがあります。
- 他の家具の上に積み重ねてのご使用は絶対にしないでください。脱落や転倒の原因になり大変危険です。

使用方法 ⚠ 注意

- 木材の接着剤(ホルムアルデヒド)等が残っている家具で、極稀にアレルギー症状を引き起こすことがあります。換気を十分にしてお取り除いてください。乳幼児の衣類等、ベビー用品を収納される場合は特に注意してください。
- 家具を移動する時は落としたり引きずったりしないでください。破損や怪我をする恐れがあります。
- 座面の回転やキャスターでの移動の際には、手や足が触れている位置によっては指等を挟む恐れがあります。特にお子様が使用される場合には、充分にご注意ください。

お手入れ方法 ⚠ 警告

- 蝶番や脚の取付金具に使用する固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには、増し締めをしてください。また、家具の移動後も点検してください。緩んだまま使っていると、家具が壊れて怪我をする恐れがあります。
- 害虫を発見した場合は直ちに殺虫や防虫処理を行ってください。他から入った可能性もありますので、放置すると害虫が広がる恐れがあります。
- 汚れを拭き取る時は固く絞った雑巾を使用して、シンナー、ベンジン等は使用しないでください。

お問い合わせ先

■万一部品漏れや部材の破損があったとき、組立方が分からない、その他不明な点があったときは、下記の連絡先までご連絡ください。

製造・販売

TOKIO 藤沢工業 株式会社

TEL 058-247-3311

〒500-8212 岐阜市日野南7-1-7

受付時間 月曜日～金曜日 AM9:30～PM5:00（土、日、祝日、年末年始、夏期休暇等は除く）

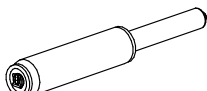
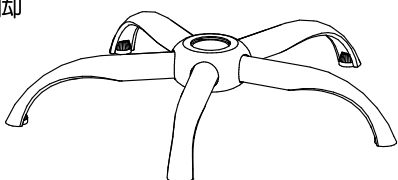
完成図・各部名称



組立前の準備

- 組立場所：なるべく広い部屋で、床や、商品を傷つけないように敷物を敷いてください。
- 部材、部品の確認：組み立てる前に、下記の「部材・部品表」を見て、すべての部材と部品を出して、破損、不足が無いかな、よく確認してください。

部材・部品表

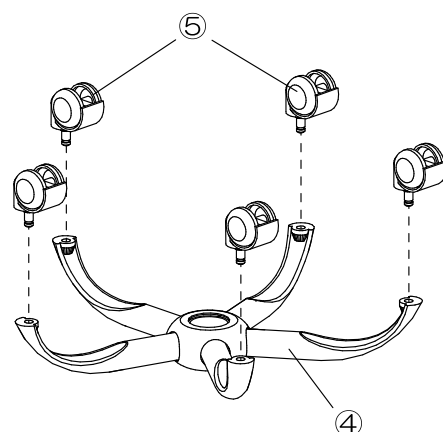
① 座・背部	③ ガスシリンダー
 1台	 1本
	④ 脚  1台
	⑤ キャスター  5個

取り付け方法

1・部品の取り付け

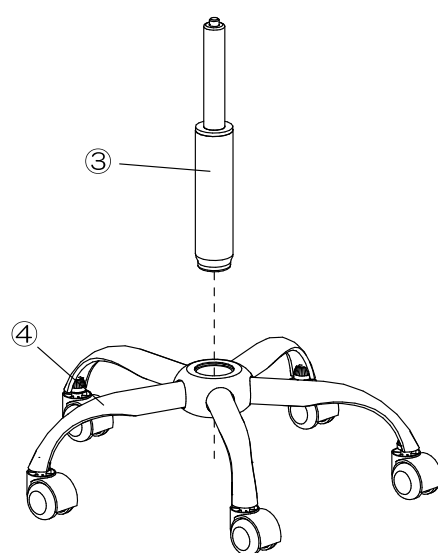
- 下図をよく見て各々の部品をとりつけます。

★⑤キャスターは④脚の下側の穴にそのピンを差し込みますが、「カチッ！」と手ごたえのあるまでしっかりと差し込んでください。



2・シリンダーの取り付け

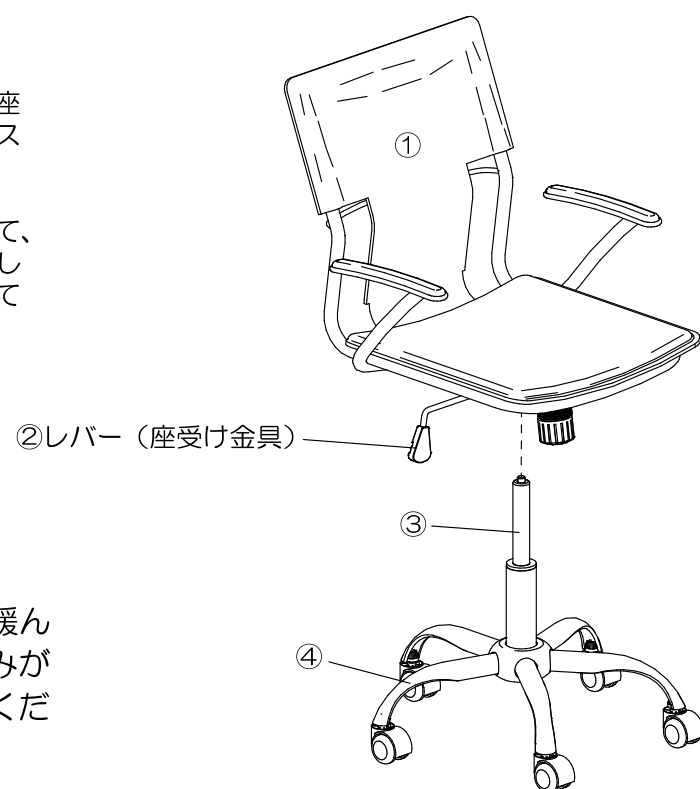
- ④脚の中央の穴に③ガスシリンダーを差し込みます。



3・座・背部の取り付け

- ①座・背部は、その裏面に取り付けた②座受けの中央の穴に④脚に取り付けた③ガスシリンダー上部を差し込んで完成です。

★完成した椅子の座面をゆっくり手で押えて、グラつきやきしみがないか、左右に動かしてキャスターがスムーズに動くか確認してから腰かけて、再度確認してください。



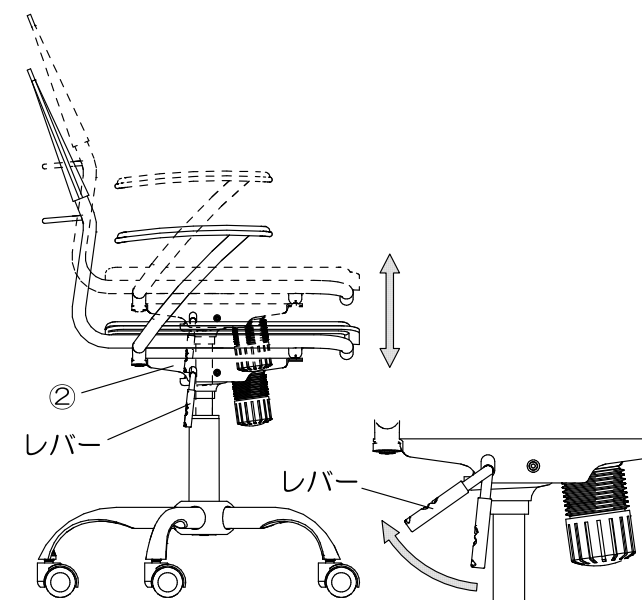
※取付に使用した固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには増し締めをしてください。

4・座・背部の昇降とリクライニング＆ロッキングの使用法

- このディレクターチェアは、①座・背部を上下に高さ調整したり、後ろに傾けてリクライニング状態やロッキング状態にすることができます。

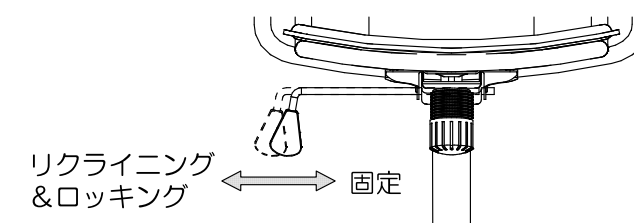
◆座・背部を上下に昇降

①座面を上上げる場合は、②座受け金具に付いているレバーを後ろに傾けながら腰を浮かせます。座面を下に下げる場合は、レバーを後ろに傾けながら座面に体重をかけます。

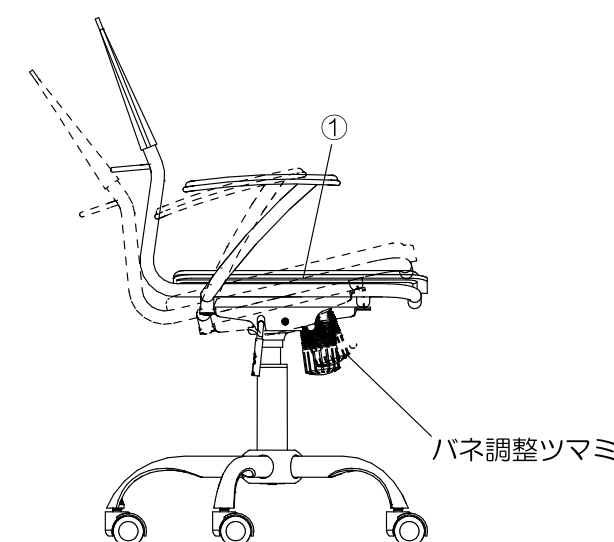


◆座・背部のリクライニング＆ロッキング

①座・背部をリクライニングやロッキング状態にするためには、下図のようにレバーを横に引いてください。固定が解除されて①座・背部が前後に傾くようになります。



①座・背部下のバネ調整ツマミを下から見て時計回りにまわすと動きは固くなり、反時計回りにまわすと動きゆるくなります。



★リクライニングやロッキングをする場合、安全のため座面は下に降ろしてご使用ください。

ディレクターチェアー（肘付） DC-50

取扱説明書

このたびは、弊社の商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
当商品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をお読みください。
商品の使用期間中はいつでもお読みになれるよう、大切に保管してください。

設置方法

警告

- 地震や津波などの予期せぬ災害で家具の転倒や移動で怪我をすることがあります。使用しない時は建物の壁、床等に市販されている固定具でしっかりと固定してください。
- 高温多湿の部屋では、カビ、ダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。家具の裏側も風通しをよくする為、壁から少し離して設置したり、部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱、冷暖房器の風が直接当たらないようにしてください。ひずみやくいの原因になることがあります。
- 家具は水平に保つように固い床面に置いてください。傾いたり、ガタツキのあるまま使っていると歪みが大きくなり動きがスムーズに出来なくなったり、家具の強度が落ちてしまう原因となります。

使用方法

危険

- 家具を本来の目的以外では使用しないでください。家具の上で立ったり、飛んだり、踏み台代わりにしたり、上に登ったり、屋外で使用するなどは絶対にしないでください。
- キャスターがついている家具は、上に乗ったり、激しく動かしたり、押して遊んだり、想定以上の重量の物を置いたりしないでください。倒れて怪我をしたり、床を傷つけたり、他の物を壊す恐れがあります。
- 他の家具の上に積み重ねてのご使用は絶対にしないでください。脱落や転倒の原因になり大変危険です。

使用方法

注意

- 木材の接着剤(ホルムアルデヒド)等が残っている家具で、極稀にアレルギー症状を引き起こすことがあります。換気を十分にしてお取り除いてください。乳幼児の衣類等、ベビー用品を収納される場合は特に注意してください。
- 家具を移動する時は落としたり引きずったりしないでください。破損や怪我をする恐れがあります。
- 座面の回転やキャスターでの移動の際には、手や足が触れている位置によっては指等を挟む恐れがあります。特にお子様が使用される場合には、充分にご注意ください。

お手入れ方法

警告

- 蝶番や脚の取付金具に使用する固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには、増し締めをしてください。また、家具の移動後も点検してください。緩んだまま使っていると、家具が壊れて怪我をする恐れがあります。
- 害虫を発見した場合は直ちに殺虫や防虫処理を行ってください。他から入った可能性もありますので、放置すると害虫が広がる恐れがあります。
- 汚れを拭き取る時は固く絞った雑巾を使用して、シンナー、ベンジン等は使用しないでください。

お問い合わせ先

■万一部品漏れや部材の破損があったとき、組立方が分からない、その他不明な点があったときは、下記の連絡先までご連絡ください。

製造・販売

東洋金属 株式会社

TEL 0587-55-0171 / FAX 0587-55-6210

〒483-8135 愛知県江南市小郷町栗田木1番地

受付時間 月曜日～金曜日 AM9:30～PM5:00（土、日、祝日、年末年始、夏期休暇等は除く）

完成図・各部名称

組立前の準備

- 取り付けに使用する工具：付属のL型ドライバー（六角）をご使用ください。
- 組立場所：なるべく広い部屋で、床や、商品を傷つけないように敷物を敷いてください。
- 部材、部品の確認：組み立てる前に、下記の「部材・部品表」を見て、すべての部材と部品を出して、破損、不足が無いか、よく確認してください。

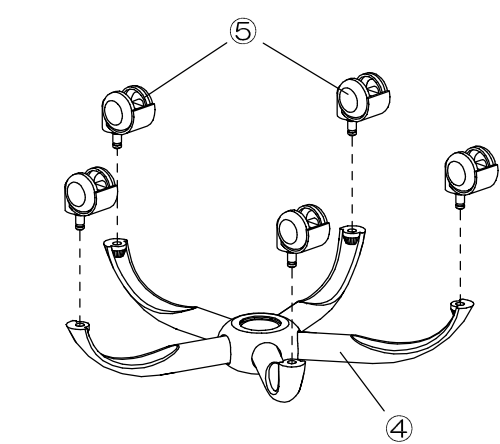
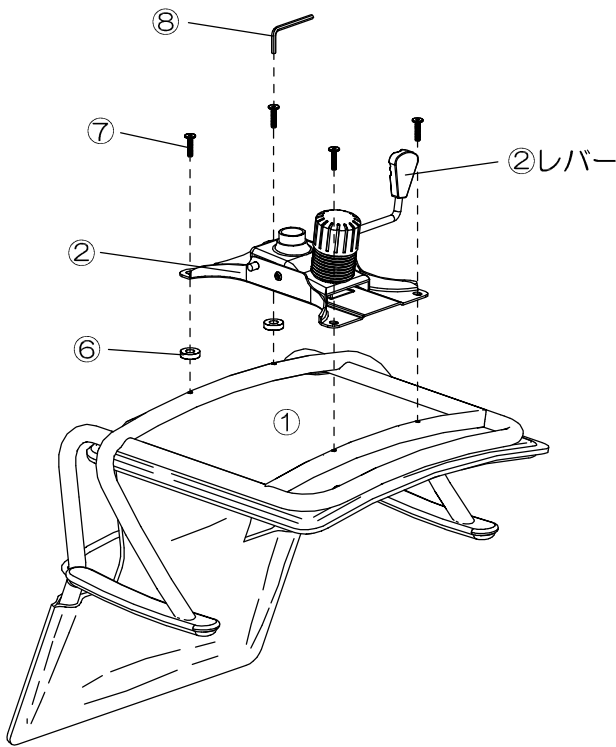
部材・部品表

① 座・背部	③ ガスシリンダー	⑦ 取り付けネジ	
1台	1本	4個	
② 座受け金具	④ 脚	⑧ L型ドライバー（六角）	
1個	1台	1個	
⑤ キャスター	⑥ 間座		
5個	2個		

取り付け方法

1・部品の取り付け

●下図をよく見て各々の部品をとりつけます。

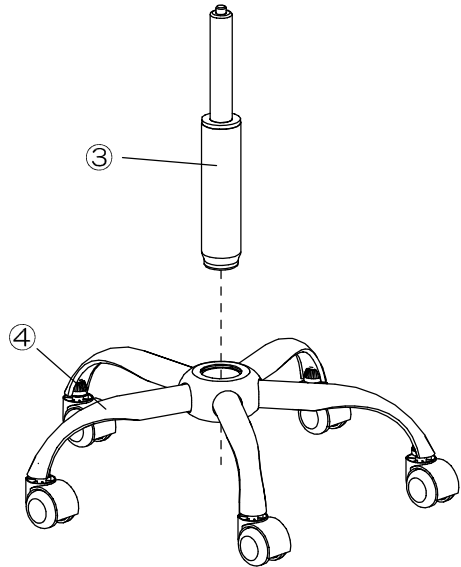


★⑤キャスターは④脚の下側の穴にそのピンを差し込みますが、「カチッ!」と手ごたえのあるまでしっかりと差し込んでください。

①座・背部を逆さまにして②座受け金具を①座・背部のパイプに明いている穴に⑦取り付けネジを⑧L型ドライバーでねじ込んで取り付けます。この時、⑥間座は①座・背部のパイプと②座受け金具の間にに入れて⑦取り付けネジを通して取り付けます。

2・シリンダーの取り付け

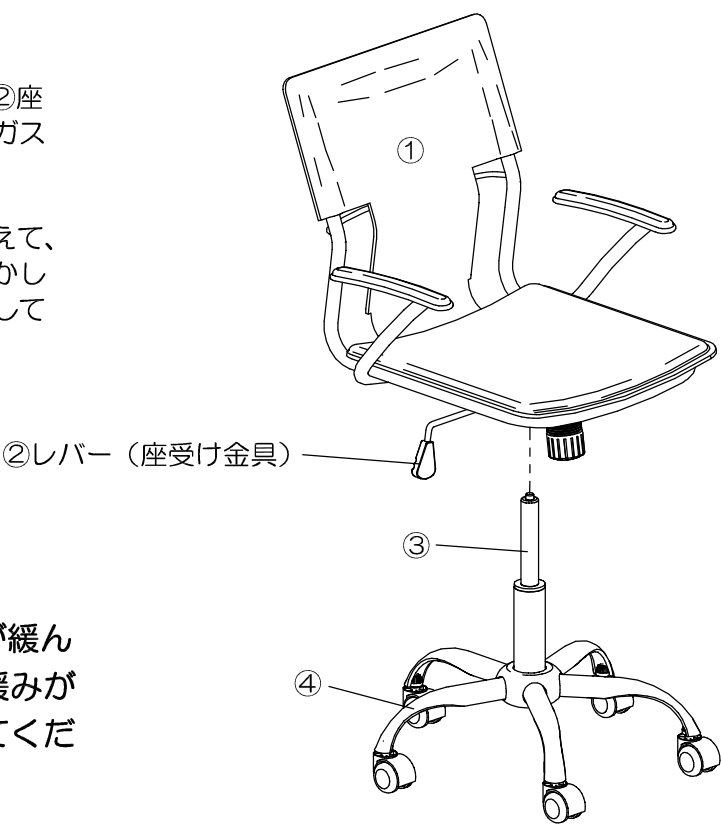
●④脚の中央の穴に③ガスシリンダーを差し込みます。



3・座・背部の取り付け

●①座・背部は、その裏面に取り付けした②座受けの中央の穴に④脚に取り付けた③ガスシリンダー上部を差し込んで完成です。

★完成した椅子の座面をゆっくり手で押えて、グラつきやきしみがでないか、左右に動かしてキャスターがスムーズに動くか確認してから腰かけて、再度確認してください。



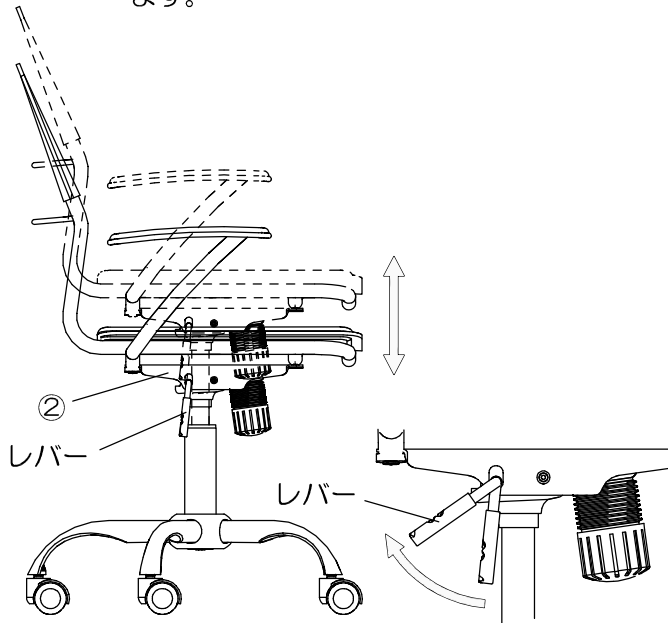
※取付に使用した固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには増し締めをしてください。

4・座・背部の昇降とリクライニング&ロックングの使用方法

●このディレクターチェアは、①座・背部を上下に高さ調整したり、後ろに傾けてリクライニング状態やロックング状態にすることができます。

◆①座・背部を上下に昇降

座面を上にする場合は、②座受け金具に付いているレバーを後ろに傾けながら腰を浮かせます。座面を下にする場合は、レバーを後ろに傾けながら座面に体重をかけます。

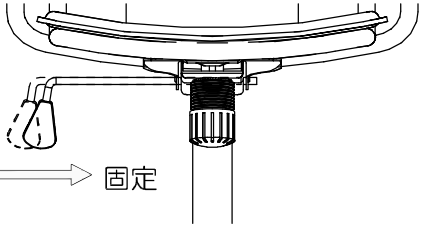
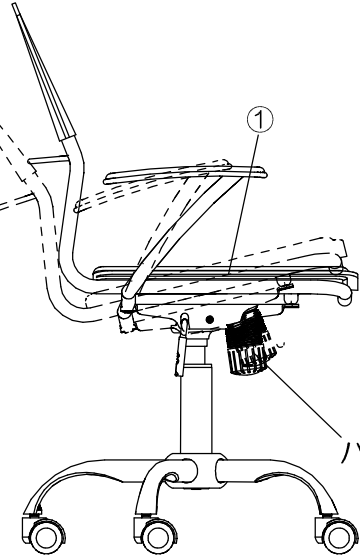


◆①座・背部のリクライニング&ロックング

①座・背部をリクライニングやロックング状態にするためには、下図のようにレバーを横に引いてください。固定が解除されて①座・背部が前後に傾くようになります。

①座・背部下のバネ調整ツミを下から見て時計回りにまわすと動きは固くなり、反時計回りにまわすと動きゆるくなります。

バネ調整ツミ



リクライニング & ロックング ← 固定

★リクライニングやロックングをする場合、安全のため座面は下に降ろしてご使用ください。

ディレクターチェア DC-60

取扱説明書

このたびは、弊社の商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
当商品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をお読みください。
商品の使用期間中はいつでもお読みになれるよう、大切に保管してください。

設置方法 ⚠ 警告

- 地震や津波などの予期せぬ災害で家具の転倒や移動で怪我をすることがあります。使用しない時は建物の壁、床等に市販されている固定具でしっかりと固定してください。
- 高温多湿の部屋では、カビ、ダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。家具の裏側も風通しをよくする為、壁から少し離して設置したり、部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱、冷暖房器の風が直接当たらないようにしてください。ひすみやくるいの原因になることがあります。
- 家具は水平に保つように固い床面に置いてください。傾いたり、ガタツキのあるまま使っていると歪みが大きくなり動きがスムーズに出来なくなったり、家具の強度が落ちてしまう原因となります。

使用方法 ⚠ 危険

- 家具を本来の目的以外では使用しないでください。家具の上で立ったり、飛んだり、踏み台代わりにしたり、上に登ったり、屋外で使用するなどは絶対にしないでください。
- キャスターがついている家具は、上に乗ったり、激しく動かしたり、押して遊んだり、想定以上の重量の物を置いたりしないでください。倒れて怪我をしたり、床を傷つけたり、他の物を壊す恐れがあります。
- 他の家具の上に積み重ねてのご使用は絶対にしないでください。脱落や転倒の原因になり大変危険です。

使用方法 ⚠ 注意

- 木材の接着剤(ホルムアルデヒド)等が残っている家具で、極稀にアレルギー症状を引き起こすことがあります。換気を十分にしてお取り除いてください。乳幼児の衣類等、ベビー用品を収納される場合は特に注意してください。
- 家具を移動する時は落としたり引きずったりしないでください。破損や怪我をする恐れがあります。
- 座面の回転やキャスターでの移動の際には、手や足が触れている位置によっては指等を挟む恐れがあります。特にお子様が使用される場合には、充分にご注意ください。

お手入れ方法 ⚠ 警告

- 蝶番や脚の取付金具に使用する固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには、増し締めをしてください。また、家具の移動後も点検してください。緩んだまま使っていると、家具が壊れて怪我をする恐れがあります。
- 害虫を発見した場合は直ちに殺虫や防虫処理を行ってください。他から入った可能性もありますので、放置すると害虫が広がる恐れがあります。
- 汚れを拭き取る時は固く絞った雑巾を使用して、シンナー、ベンジン等は使用しないでください。

お問い合わせ先

■万一部品漏れや部材の破損があったとき、組立方が分からない、その他不明な点があったときは、下記の連絡先までご連絡ください。

製造・販売

TOKIO 藤沢工業 株式会社

TEL 058-247-3311

〒500-8212 岐阜市日野南7-1-7

受付時間 月曜日～金曜日 AM9:30～PM5:00（土、日、祝日、年末年始、夏期休暇等は除く）

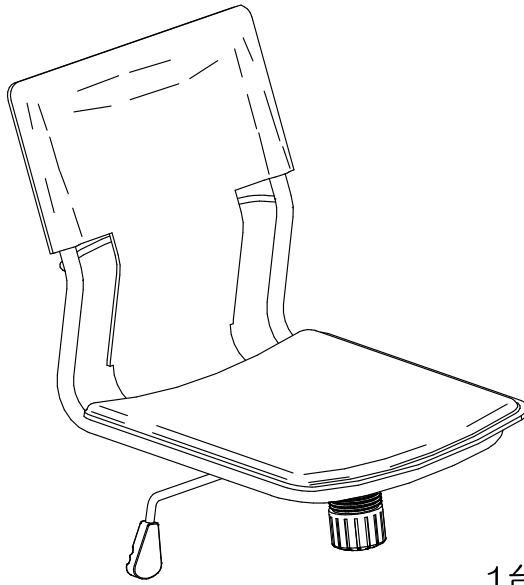
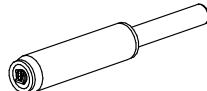
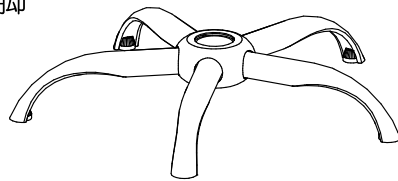
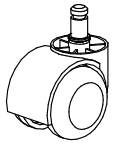
完成図・各部名称



組立前の準備

- 組立場所：なるべく広い部屋で、床や、商品を傷つけないように敷物を敷いてください。
- 部材、部品の確認：組み立てる前に、下記の「部材・部品表」を見て、すべての部材と部品を出して、破損、不足が無いのか、よく確認してください。

部材・部品表

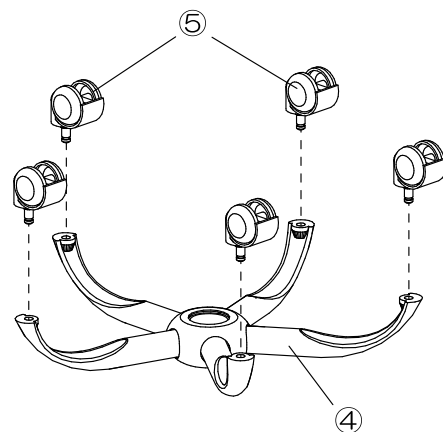
① 座・背部	③ ガスシリンダー
	 1本
	④ 脚
	 1台
	⑤ キャスター
	 5個

取り付け方法

1・部品の取り付け

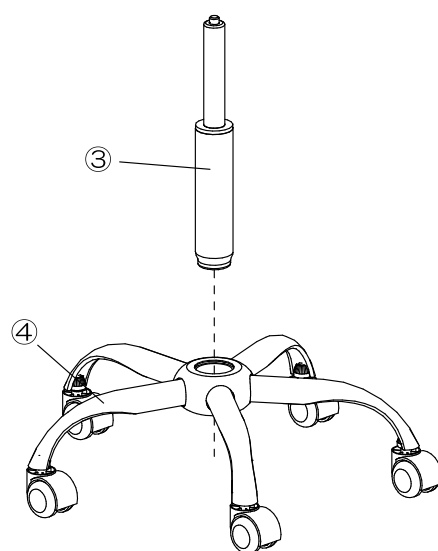
- 下図をよく見て各々の部品をとりつけます。

★⑤キャスターは④脚の下側の穴にそのピンを差し込みますが、「カチッ！」と手ごたえのあるまでしっかりと差し込んでください。



2・シリンダーの取り付け

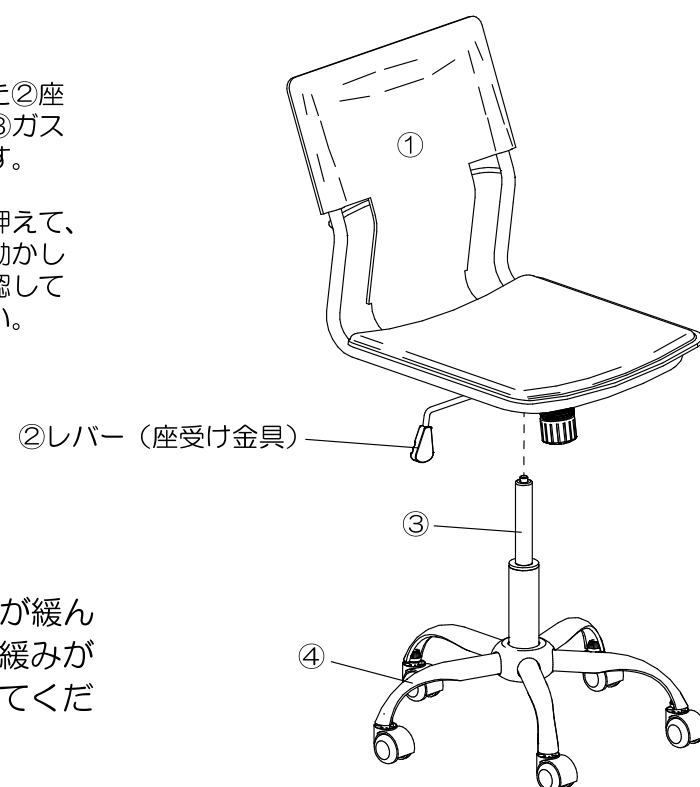
- ④脚の中央の穴に③ガスシリンダーを差し込みます。



3・座・背部の取り付け

- ①座・背部は、その裏面に取り付けた②座受けの中央の穴に④脚に取り付けた③ガスシリンダー上部を差し込んで完成です。

★完成した椅子の座面をゆっくり手で押えて、グラつきやきしみがなく、左右に動かしてキャスターがスムーズに動くか確認してから腰かけて、再度確認してください。



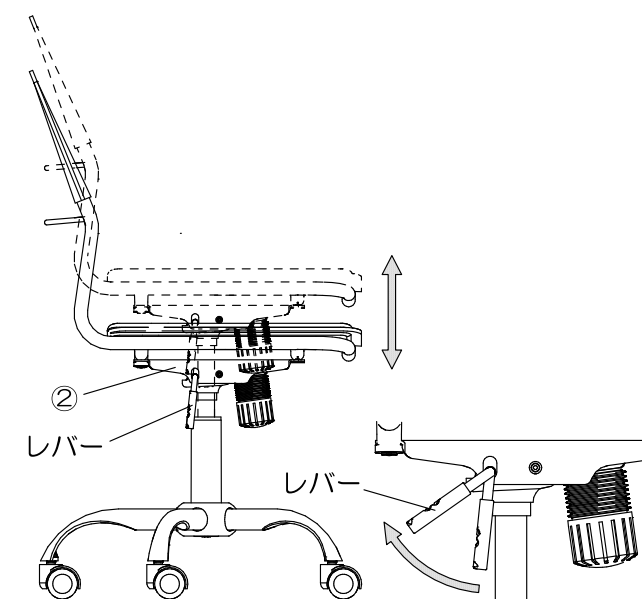
※取付に使用した固定用ネジ類が緩んでいないか定期的に点検し、緩みがあったときには増し締めをしてください。

4・座・背部の昇降とリクライニング＆ロックングの使用方法

- このディレクターチェアは、①座・背部を上下に高さ調整したり、後ろに傾けてリクライニング状態やロックング状態にすることができます。

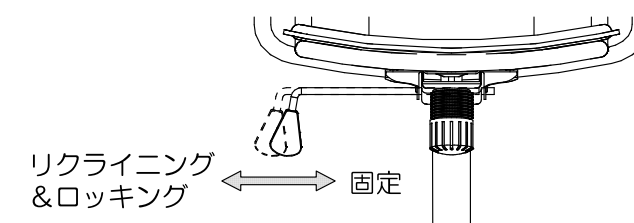
◆座・背部を上下に昇降

①座面を上にする場合は、②座受け金具に付いているレバーを後ろに傾けながら腰を浮かせます。座面を下にする場合は、レバーを後ろに傾けながら座面に体重をかけます。

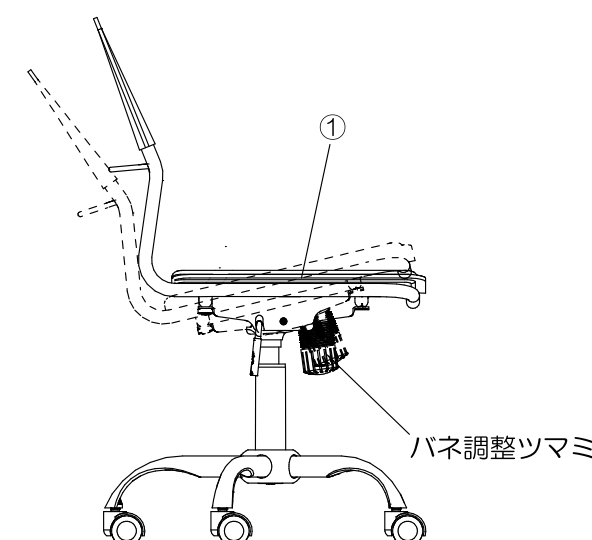


◆座・背部のリクライニング＆ロックング

①座・背部をリクライニングやロックング状態にするためには、下図のようにレバーを横に引いてください。固定が解除されて①座・背部が前後に傾くようになります。



①座・背部下のバネ調整ツマミを下から見て時計回りにまわすと動きは固くなり、反時計回りにまわすと動きゆるくなります。



★リクライニングやロックングをする場合、安全のため座面は下に降ろしてご使用ください。